

アズビル株式会社 証券コード: 6845(東証1部)

2013年度(2014年3月期)

第3四半期決算 補足説明資料

目次

1. 2013年度第3四半期累計期間 連結業績
2. 2013年度通期 連結業績計画
→直近の公表から修正なし
3. 株主の皆様への利益還元
→直近の公表から修正なし

※1. 金額は表示単位未満切り捨てで記載しております。

※2. 次の通りセグメント名称を略称で記載しております。

BA: ビルディングオートメーション
 AA: アドバンスオートメーション
 LA: ライフオートメーション

※3. 各セグメント別の金額には、セグメント間の内部取引が含まれております。

※4. 新規連結会社の状況は次の通りとなっております。

新規連結会社	2012年度				2013年度	連結の理由
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	
① 北京銀泰永輝智能科技有限公司	●	●	■			株式取得
② アズビルTACO株式会社			●	■		株式取得
③ アズビルテルスター有限会社				●	■	株式取得
④ アズビルボルテック有限会社				●	■	株式取得
⑤ アズビルブラジル有限会社					■	重要性増大

●: B/S連結(同時に新規連結時の受注残高を受注高に計上)

1. 2013年度第3四半期累計期間 連結業績

経営成績

＜対前年同期＞

- 『グローバル展開』の進捗に伴い、海外事業が大きく伸長。全事業で受注高、売上高が増加となる。
- 新規連結会社の利益貢献は体制整備費用等も発生して現時点では限定的であり、また、のれん償却額の増加、退職給付費用の増加※等もあって、主に国内において体質改善が進捗したものの、営業利益は減少となる。
- 円安が進んだことに伴う為替差益等により、当期純利益は前年同期並みとなる。

[単位：億円]

	当期	前年同期	対前年同期	
			増減	増減%
受注高	1,958	1,744	+214	+12.3
売上高	1,696	1,570	+126	+8.0
売上総利益	574	530	+44	+8.3
%	33.9	33.8	+0.1P	
販売費及び一般管理費	533	476	+56	+11.9
営業利益	40	53	△12	△24.1
%	2.4	3.4	△1.0P	
経常利益	50	57	△7	△12.4
税金等調整前当期純利益	53	58	△4	△7.8
当期純利益	26	25	+0	+2.1
%	1.6	1.6	△0.1P	

※ 当年度において退職給付費用の一時的な増加等が発生(当期においては約9億円)。国債金利の低下及び社員構成の変動によるもの。

2013年度第3四半期累計期間連結業績 セグメント別業績 BA事業



<対前年同期>

■【受注高】

国内市場では、電気料金の値上げ等による省エネ関連需要が顕在化して大きく増加。海外市場においても、前年同期における新規連結の影響を除けば順調な伸張となる。

■【売上高】

国内市場では、新設分野が前年同期に複数の大型案件が計上されていたこと及び大型再開発計画が切れ間にあること等から大きく減少、既設建物の改修及びサービス事業が堅調に推移したものの、全体として減収となる。海外市場では、昨年度に資本参加した北京銀泰を含む中国とシンガポール、ベトナムを中心に順調に増加。

■【セグメント利益】

退職給付費用の増加※及びのれん償却額の増加に伴う減益影響を、増収及び施工でのコスト改善やジョブ管理の強化による利益改善で吸収し、前年同期並みとなる。

[単位：億円]

	当期	前年同期	対前年同期	
			増減	増減%
■ BA事業 受注高	868	839	+29	+3.6
売上高	705	698	+6	+0.9
セグメント利益	33	33	△0	△0.1
%	4.8	4.8	△0.0P	

※ 当年度において退職給付費用の一時的な増加等が発生。国債金利の低下及び社員構成の変動によるもの。

2013年度第3四半期累計期間連結業績 セグメント別業績 AA事業



<対前年同期>

■【受注高・売上高】

新規連結や為替変動の影響もあり海外事業が大きく伸長し、全体として増加となる。国内市場は、工業炉や半導体装置メーカー向け等、一部の市場で需要が回復傾向にあるものの、化学等のプラント向けの設備投資は依然厳しい状況が続いている。

■【セグメント利益】

海外及び新規連結により増収となり、原価率も改善したものの、新規連結会社の利益貢献は限定的であったこと、加えて海外経費・退職給付費用の増加※、のれん償却額の負担増により、全体で減益となる。

[単位: 億円]

	当期	前年同期	対前年同期	
			増減	増減%
■ AA事業 受注高	703	653	+49	+7.6
売上高	637	623	+14	+2.3
セグメント利益	14	21	△7	△32.7
%	2.3	3.5	△1.2P	

※ 当年度において退職給付費用の一時的な増加等が発生。国債金利の低下及び社員構成の変動によるもの。

2013年度第3四半期累計期間連結業績 セグメント別業績 LA事業



<対前年同期>

■【受注高・売上高】

新設したライフサイエンスエンジニアリング事業(主に新規連結のアズビルテルスター)の影響を中心に全体として大きく増加。ガス・水道メータの分野(アズビル金門)においては採算性重視の営業活動等により売上高としては減少したものの、住宅用全館空調システム及び健康福祉・介護の分野では拡販施策の成果により伸長となる。

■【セグメント利益】

アズビル金門は増益※となったものの、アズビルテルスターの連結に伴いのれん償却額が増加、並びに同社の体制整備費用等新規連結に伴う影響、加えて健康福祉・介護分野の事業拡大に向けた体制整備費用の発生等により減益となる。

[単位：億円]

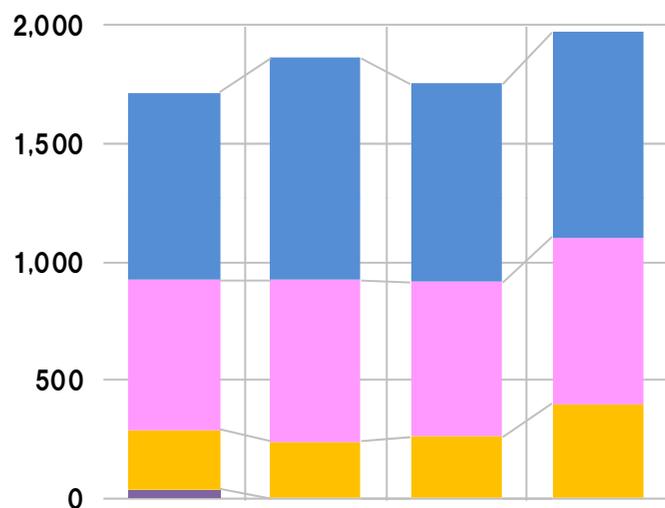
	当期	前年同期	対前年同期	
			増減	増減%
■ LA事業 受注高	399	261	+138	+52.8
売上高	361	258	+103	+40.0
セグメント利益	△8	△2	△5	-
%	△2.3	△1.0	△1.3P	

※ なお、当年度より、アズビル金門ののれん償却額は半減しております。

[参考] セグメント別受注高 同期比較・四半期推移

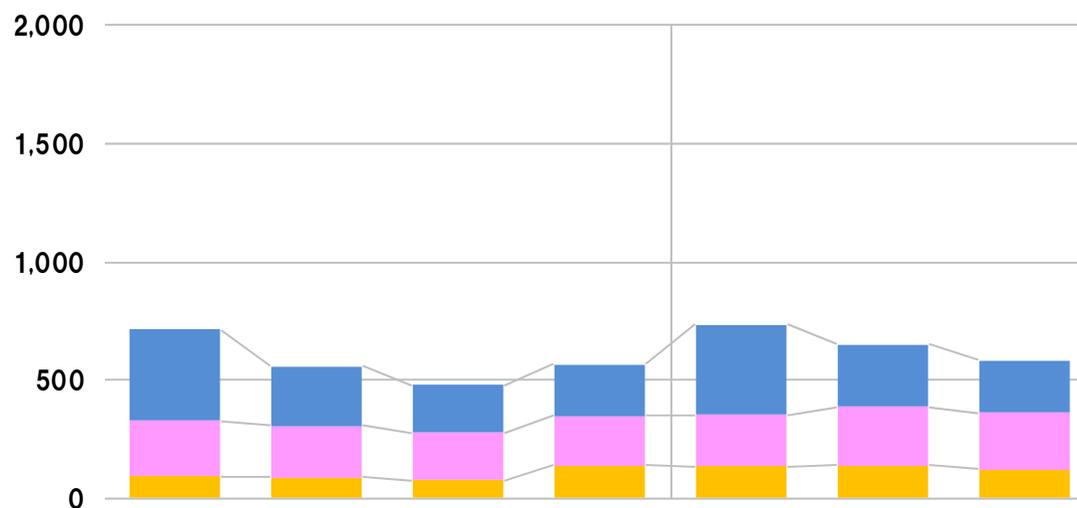
[単位：億円]

■ 同期比較



年度	2010 3Q累計	2011 3Q累計	2012 3Q累計	2013 3Q累計
B A 事業	794	939	839	868
A A 事業	634	681	653	703
L A 事業	250	241	261	399
■ その他	39	0	0	0
連結	1,706	1,848	1,744	1,958

■ 四半期推移



年度	2012				2013		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
B A 事業	385	253	200	218	380	264	224
A A 事業	236	216	201	212	219	246	237
L A 事業	93	89	78	139	134	141	123
連結	713	554	476	566	730	646	582

※ 2012年度より、従来「その他」に含めていた事業の一部(検査・測定機器の輸入・仕入販売)を、「AA事業」へ区分変更致しました。2011年度の数値につきましては、変更後のセグメント区分に組替えて記載しております。

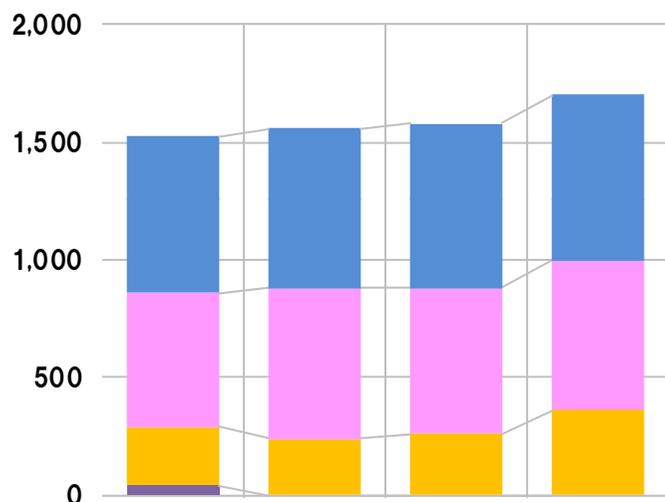
※ azbilグループの売上は、第2四半期会計期間及び第4四半期会計期間に集中する傾向がある一方、固定費は恒常的に発生するため、例年、第1四半期会計期間及び第3四半期会計期間の利益は、他の四半期会計期間に比べ低くなる傾向があります。

[参考] セグメント別売上高 同期比較・四半期推移



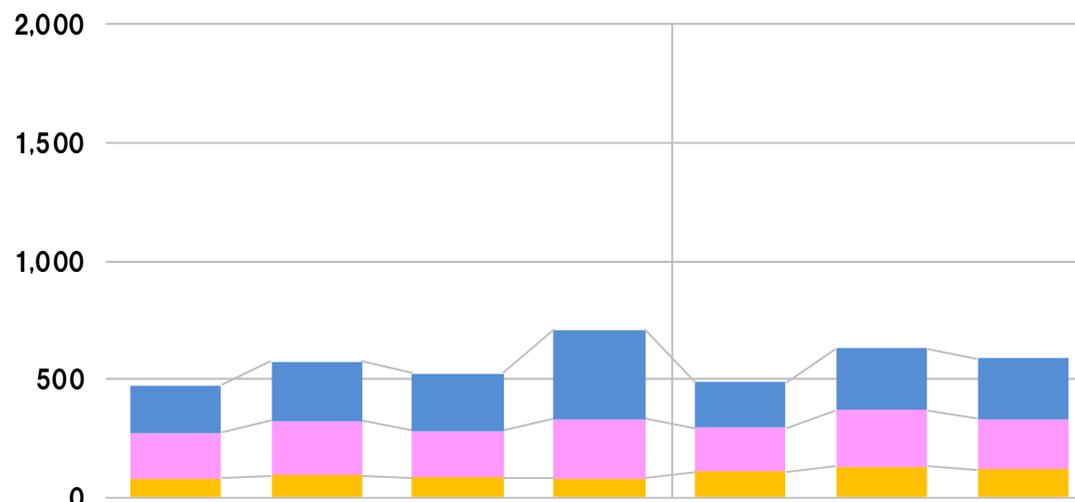
[単位: 億円]

■ 同期比較



年度	2010 3Q累計	2011 3Q累計	2012 3Q累計	2013 3Q累計
B A 事業	669	679	698	705
A A 事業	567	639	623	637
L A 事業	250	240	258	361
■ その他	40	0	0	0
連結	1,516	1,548	1,570	1,696

■ 四半期推移



年度	2012				2013		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
B A 事業	199	253	245	375	191	259	254
A A 事業	193	232	197	253	186	237	213
L A 事業	82	92	83	81	109	132	119
連結	471	575	522	705	485	627	583

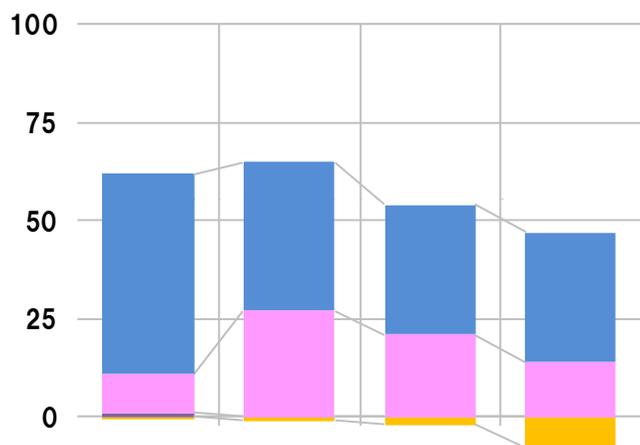
※ 2012年度より、従来「その他」に含めていた事業の一部(検査・測定機器の輸入・仕入販売)を、「AA事業」へ区分変更致しました。2011年度の数値につきましては、変更後のセグメント区分に組替えて記載しております。

※ azbilグループの売上は、第2四半期会計期間及び第4四半期会計期間に集中する傾向がある一方、固定費は恒常的に発生するため、例年、第1四半期会計期間及び第3四半期会計期間の利益は、他の四半期会計期間に比べ低くなる傾向があります。

[参考] セグメント利益(営業利益) 同期比較・四半期推移

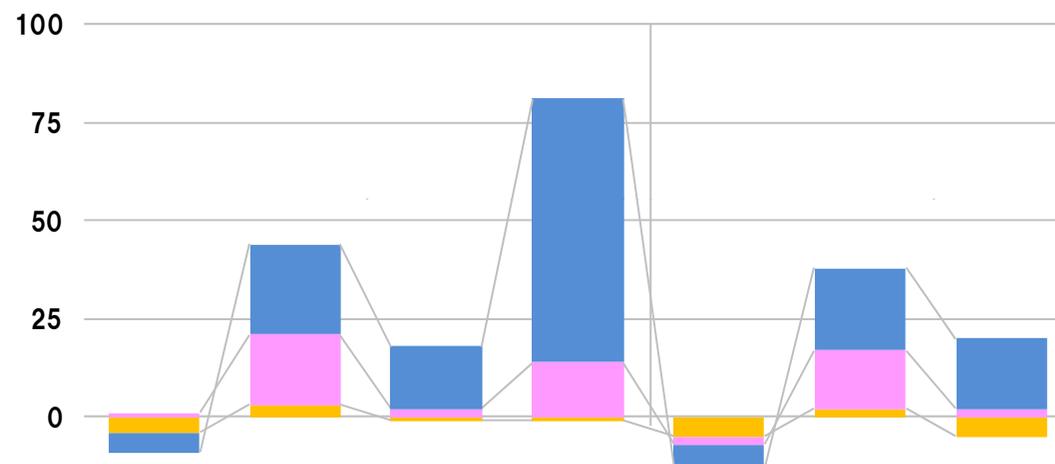
[単位: 億円]

■ 同期比較



年度	2010 3Q累計	2011 3Q累計	2012 3Q累計	2013 3Q累計
BA事業	51	38	33	33
AA事業	10	27	21	14
LA事業	△0	△1	△2	△8
■ その他	1	△0	0	0
連結	62	65	53	40

■ 四半期推移



年度	2012				2013		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
BA事業	△5	23	16	67	△6	21	18
AA事業	1	18	2	14	△2	15	2
LA事業	△4	3	△1	△1	△5	2	△5
連結	△9	44	17	80	△15	39	15

※ 2012年度より、従来「その他」に含めていた事業の一部(検査・測定機器の輸入・仕入販売)を、「AA事業」へ区分変更致しました。2011年度の数値につきましては、変更後のセグメント区分に組替えて記載しております。

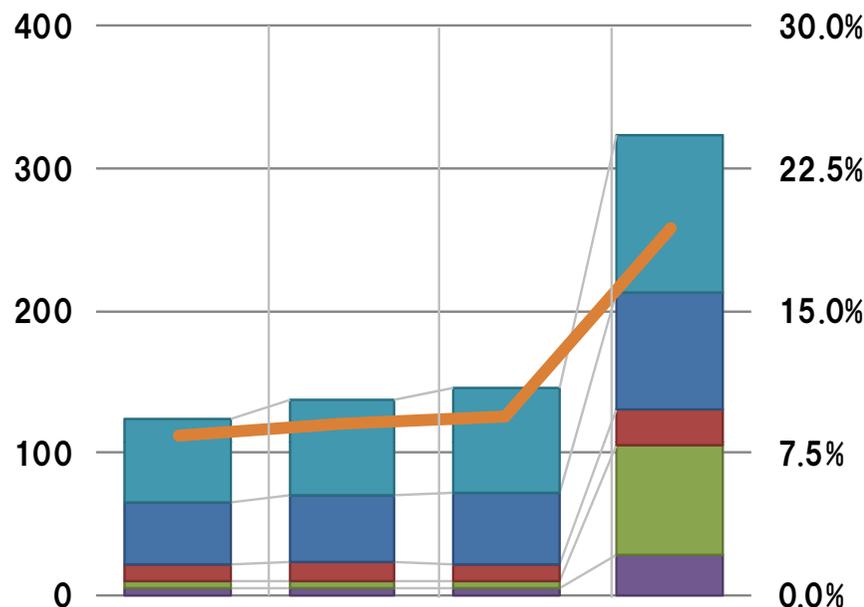
※ azbilグループの売上は、第2四半期会計期間及び第4四半期会計期間に集中する傾向がある一方、固定費は恒常的に発生するため、例年、第1四半期会計期間及び第3四半期会計期間の利益は、他の四半期会計期間に比べ低くなる傾向があります。

2013年度第3四半期累計期間連結業績 海外地域別売上高 同期比較



[単位：億円]

- 事業の堅調な推移に加え、新規連結及び為替の影響もあり売上高は大きく伸長。
- 【BA事業】中国、アジア地域において、ランドマーク案件の獲得も含め拡大。
- 【AA事業】品揃えとソリューション展開で北米が好調。
- 【LA事業】アズビルテルスターの連結により欧州、その他(中南米)地域が大きく伸長。



年度	2010 3Q累計	2011 3Q累計	2012 3Q累計	2013 3Q累計
アジア	58	67	73	111
中国	44	48	51	83
北米	13	13	11	24
欧州	5	6	5	78
その他	4	4	5	28
連結	127	139	147	326

(ご参考)

海外売上高%	8.4%	9.0%	9.4%	19.3%
期中平均レート(USD)	89.49	80.59	79.40	96.84
期中平均レート(EUR)	117.62	113.38	101.73	127.48

※ 海外売上高は、現地法人と直接輸出の売上のみを集計しており、間接輸出は含んでおりません。
 ※ 現地法人の事業年度につきましては、主に12月31日を期末日とする年度を採用しております。

2013年度第3四半期累計期間連結業績 財政状態



- **資産** 売上が第2・第4四半期に集中することから第3四半期としては売上債権が大きく減少、株式相場の上昇により投資有価証券の時価が増加したものの、全体として前年度末比104億円の減少となる。
- **負債** 仕入債務が減少したことに加え、法人税等の支払いにより未払法人税等が減少。また、賞与支払いにより賞与引当金が減少し、全体として前年度末比107億円の減少となる。
- **純資産** 配当金支払いにより利益剰余金が減少したものの、四半期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金の増加に加えて為替換算調整勘定が増加し、全体として前年度末比3億円の増加となる。

[単位：億円]

	当期末 (A)	前年度末 (B)	対前年度末 増減 (A) - (B)		当期末 (A)	前年度末 (B)	対前年度末 増減 (A) - (B)
流動資産	1,693	1,817	123	負債	914	1,022	107
現金及び預金	476	484	7	流動負債	722	828	106
受取手形及び売掛金	763	888	125	仕入債務	341	405	64
棚卸資産	212	165	+47	短期借入金・社債	153	133	+19
その他	241	279	37	その他	227	288	61
固定資産	636	617	+18	固定負債	192	193	1
有形固定資産	243	246	3	長期借入金・社債	32	45	13
無形固定資産	127	126	+1	その他	160	148	+11
投資その他の資産	264	244	+20	純資産	1,415	1,411	+3
				株主資本	1,343	1,362	19
				資本金	105	105	-
				資本剰余金	171	171	-
				利益剰余金	1,092	1,111	19
				自己株式	26	26	0
				その他の包括利益累計額	56	28	+27
				新株予約権・少数株主持分	15	21	5
資産合計	2,329	2,434	104	負債純資産合計	2,329	2,434	104

2. 2013年度通期 連結業績計画

2. 2013年度通期 連結業績計画 修正計画



- 当第3四半期における連結業績は、概ね修正計画の範囲内で推移しており、通期の連結業績計画は2013年11月1日に公表した値を据え置く。

[単位: 億円]

	修正計画	期初計画	対期初計画		前年度	対前年度	
			増減	増減%		増減	増減%
売上高	2,500	2,500	-	-	2,275	+224	+9.8
営業利益	137	142	Δ5	Δ3.5	134	+2	+2.2
%	5.5	5.7	Δ0.2P		5.9	Δ0.4P	
経常利益	132	135	Δ3	Δ2.2	145	Δ13	Δ9.4
当期純利益	78	80	Δ2	Δ2.5	83	Δ5	Δ6.1
%	3.1	3.2	Δ0.1P		3.7	Δ0.5P	

2. 2013年度通期 連結業績計画 セグメント別計画



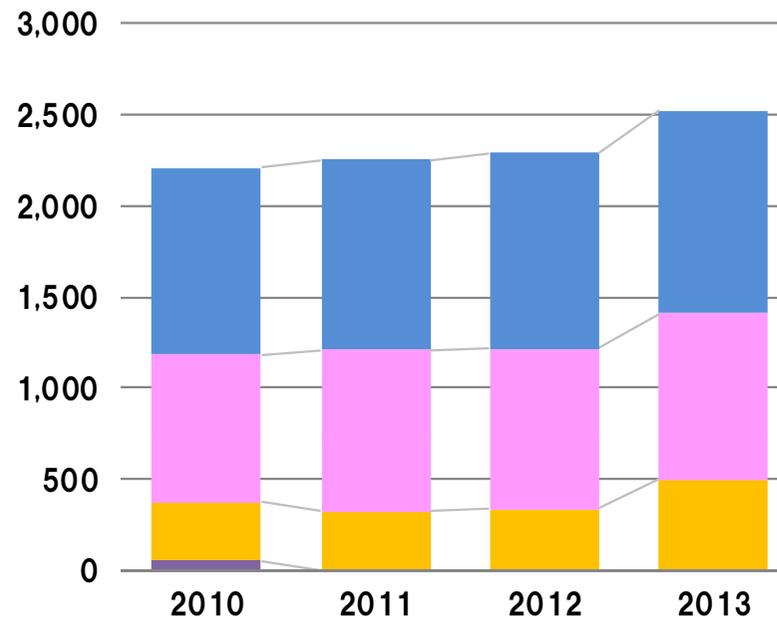
[単位：億円]

	修正計画	期初計画	対期初計画		前年度	対前年度		
			増減	増減%		増減	増減%	
■ B A事業 売上高	1,110	1,110	-	-	1,074	+35	+3.3	
	セグメント利益	104	103	+1	+1.0	101	+2	+2.4
	%	9.4	9.3	+0.1P		9.5	Δ0.1P	
■ A A事業 売上高	910	930	Δ20	Δ2.2	876	+33	+3.8	
	セグメント利益	36	38	Δ2	Δ5.3	36	Δ0	Δ1.3
	%	4.0	4.1	Δ0.1P		4.2	Δ0.2P	
■ L A事業 売上高	500	480	+20	+4.2	339	+160	+47.1	
	セグメント利益	Δ3	1	Δ4	-	Δ3	+0	-
	%	Δ0.6	0.2	Δ0.8P		Δ1.2	+0.6P	
連結 売上高	2,500	2,500	-	-	2,275	+224	+9.8	
	営業利益	137	142	Δ5	Δ3.5	134	+2	+2.2
	%	5.5	5.7	Δ0.2P		5.9	Δ0.4P	

2. 2013年度通期 連結業績計画



[参考] セグメント別売上高 推移



[単位: 億円]

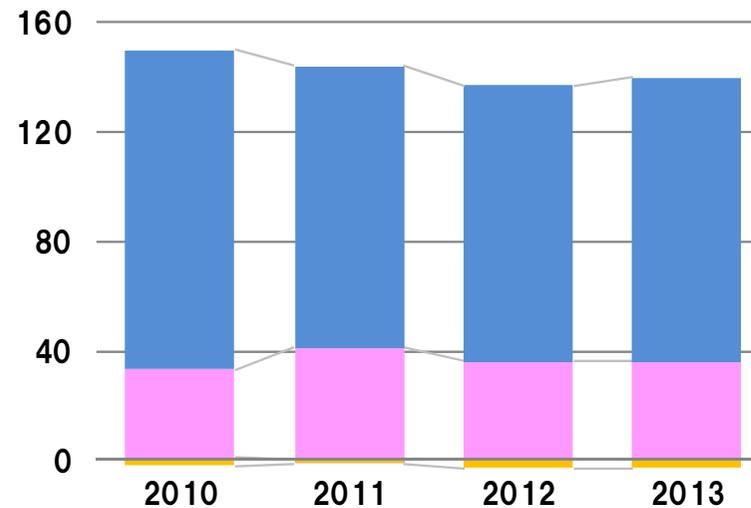
年度	2010	2011	2012	2013 (計画)
BA事業	1,021	1,038	1,074	1,110
AA事業	809	888	876	910
LA事業	326	325	339	500
■ その他	51	0	0	1
連結	2,192	2,234	2,275	2,500

※ 2012年度より、従来「その他」に含めていた事業の一部(検査・測定機器の輸入・仕入販売)を、「AA事業」へ区分変更致しました。2011年度の数値につきましては、変更後のセグメント区分に組替えて記載しております。

2. 2013年度通期 連結業績計画



[参考] セグメント利益(営業利益) 推移



[単位: 億円]

年度	2010	2011	2012	2013 (計画)
BA事業	117	103	101	104
AA事業	32	41	36	36
LA事業	△2	△1	△3	△3
■ その他	1	△0	0	0
連結	148	143	134	137

※ 2012年度より、従来「その他」に含めていた事業の一部(検査・測定機器の輸入・仕入販売)を、「AA事業」へ区分変更致しました。2011年度の数値につきましては、変更後のセグメント区分に組替えて記載しております。

3. 株主の皆様への利益還元

3. 株主の皆様への利益還元 配当金

- 株主の皆様への利益還元を重視し、連結業績、自己資本当期純利益率・純資産配当率の水準向上に努めつつ、安定した配当を維持する。
- 基本方針と施策の進捗状況に鑑み、5月10日公表通り、1株当たり31.5円中間配当を行う。また、同じく公表通り、1株当たり31.5円の期末配当により、年間で1株あたり63円の配当を計画する。

	2012年度		2013年度	
	中間	期末	中間	期末
1株当たり配当金 [円]	31.5	31.5	31.5	31.5(計画)
配当性向	56.0%		59.7%	
純資産配当率 (DOE)	3.4%		3.3%	

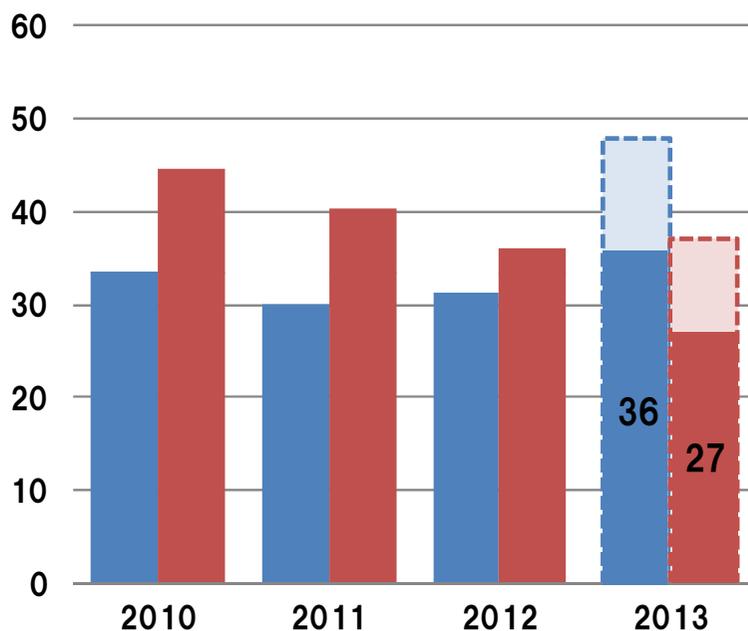
(ご参考) 当期末(2013年12月30日)時点配当利回り 2.6%

補足資料

設備投資・減価償却費／研究開発費

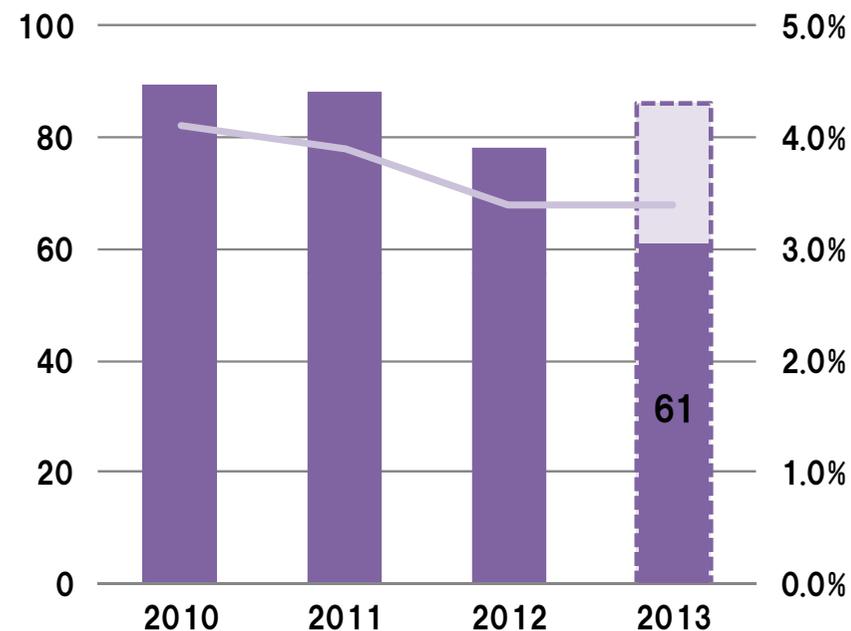
[単位：億円]

■ 設備投資・減価償却費



年度	2010	2011	2012	2013 (計画)
設備投資	33	30	31	48
減価償却費	44	40	36	37

■ 研究開発費・研究開発費率



	2010	2011	2012	2013 (計画)
研究開発費	89	88	78	86
研究開発費率	4.1%	3.9%	3.4%	3.4%

azbilグループは、
「人を中心としたオートメーション」で、
人々の「安心、快適、達成感」を実現する
とともに、地球環境に貢献します。

<お問い合わせ>

アズビル株式会社
理財部 IRグループ

電話: 03-6810-1031
メール: azbil-ir@azbil.com
URL: <http://www.azbil.com/jp/ir/>